

袋

おん タイ
ふくろ

11画
一 代 代 代 袋 袋 袋

はねる

なりたち 代わる意味の代と衣服の意味の衣との会意形声字。首と手が出せる袋状の簡易服を表した字。「代用衣」という意味の字。体を包む手袋、足袋の意味から転じて、「物を包む物」をいう。



袋

漢字学習コーナー

漢字学習コーナー

Ⅲ かな文字の起りⅢ

文字をもたない民族がシユメール文字を表音文字として借りたように、文字をもたなかった日本人は漢字を表音文字として使うことにしました。例えば、「安」は家に女がいて心安らかという意味でアンと読む字ですが、安らかという意味を捨て、アンのアという発音を表す文字として使いました。シユメール文字のVをアレフのアという発音を表す文字にしたのと全く同じ用字法です。(608ページ参照)

この用法を「仮借」と言い、「仮借字」と言いました。字は物の名を表すものですから日本では字を「ナ」と言い、「仮借字」を「仮字」と書き「カナ」と読みました。

安↓あ↓あ ア↓ア↓ア
以↓イ↓い イ↓イ↓イ
宇↓ウ↓う ウ↓ウ↓ウ

みました。

さて、日本の最も古い歌集「万葉集」は、海を「宇美」波を「奈美」というように漢字を仮借字として使っていますので、これを「万葉がな」と呼ぶようになりました。

ところが、例えば「安」を書くのにきちんと楷書で書くよりも、「あ」と草体で書く方が便利なので、多くこれが使われるようになり、さらに簡略化されて「あ」という今の「ひらがな」が生まれました。また、別に漢字の一部を使って表す「カタカナ」が作られました。

式

式

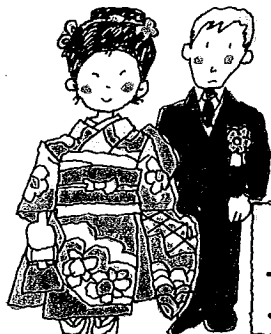
おん シキ

3画

一 一 一 一 一 一 式

はねる

なりたち 二本の木の枝を結び、地面に打ち込んだ目印の意味の弋(代)の(本字)と、工作の意味の工との会意形声字。工作の目印となる「一定の型」を表した字。「仕方の手本」の意味。



いみじゆく
▼一定の型。決まり。
方式：ものごとをする場合の一定の形式。
形式：①一定の型。②内容に對する外見の意味。③見せかけ。
儀式：祝い・祭り・弔い等で、一定の形式に従ってする行事。式典。
書式：公文書等の書き方の形式。書き方の手本。
▼儀式。式典。
式辞：儀式で主催者が述べらる挨拶(ことば)の言葉。
成人式：満二十歳になった人を祝う式典。
式服：儀式の時に着る正式の衣服。礼服。
式次第：儀式を行う順序。式典のプログラム。
よみかた 式次・式場・式典・格式・公式・数式・略式

試

おん シ

4画

一 一 一 一 試

はねる

なりたち 雛形(雛)の意味の式(シはなまり)と言との会意形声字。雛形に従って言ってみる、という意味の字。「試し」に言ってみる・試みる」こと。



いみじゆく
▼試みる。試す。
試験：①物の性質や力などを試すこと。②試験管
力や能力を試すために、問題を出して答えさせること。
試合：競技や武芸などで、互いに技術を比べ合つて勝負を争うこと。
試験：決心や信仰などの強さを試すこと。また、その時の苦難。
試作：試しに作つてみること。
例作品
試食：味を見るために、試しに食べてみることに。
試金石：①貴金属の純度を調べるための石。②物事の価値や人物の能力を判定するための材料になる事柄。
試行錯誤：失敗を重ねながら、少しずつ問題を解決していくこと。

式

試